

画面レイアウト定義書	システム名	難病・小慢DB	作成者		作成日	2021/11/22
	サブシステム名	指定医区画	更新者		更新日	2022/1/31
	サービスコンポーネント名		承認者		承認日	

画面ID	A15S010	画面名	院内システム用臨個票・意見書データ一括チェック画面
------	---------	-----	---------------------------

画面レイアウト		概要						
<p>1. 画面レイアウト</p> <p>1) 初期表示</p> <div style="border: 2px solid red; padding: 5px;"> <p>① 実行</p> <p>②</p> <p>③</p> <p>臨床調査個人票・医療意見書の一括登録時にチェックツールのバージョンが最新でなかった場合、本チェックツールを一度アンインストールしていただき、最新のチェックツールをインストールしてください。最新のチェックツールのバージョンは以下のダウンロードサイト、もしくは臨床調査個人票・医療意見書一括登録画面で確認できます。以下のダウンロードサイトから最新のインストーラをダウンロードできます。</p> <p>ダウンロードサイトのURL https://xxx.xxx.xxx/xxx.html</p> <p>チェックツールのバージョン 1.0.0</p> <p>出力フォルダ <input type="text"/> 参照</p> <p>ファイル <input type="text"/> 参照</p> </div> <p>① 「画面イベント一覧」参照</p>		<p>・院内システム用臨個票・意見書データ一括チェック画面領域間の包含関係について示す。</p>						
<p>2) 一覧表示</p> <div style="border: 2px solid red; padding: 5px;"> <p>① 実行</p> <p>②</p> <p>③</p> <p>臨床調査個人票・医療意見書の一括登録時にチェックツールのバージョンが最新でなかった場合、本チェックツールを一度アンインストールしていただき、最新のチェックツールをインストールしてください。最新のチェックツールのバージョンは以下のダウンロードサイト、もしくは臨床調査個人票・医療意見書一括登録画面で確認できます。以下のダウンロードサイトから最新のインストーラをダウンロードできます。</p> <p>ダウンロードサイトのURL https://xxx.xxx.xxx/xxx.html</p> <p>チェックツールのバージョン 1.0.0</p> <p>出力フォルダ <input type="text"/> 参照</p> <p>ファイル <input type="text"/> 参照</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>ファイル名</th> <th>結果</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>data_20211101.xml</td> <td>成功</td> </tr> <tr> <td>data_20211105.xml</td> <td>エラーあり。詳細はエラーリストを参照してください。</td> </tr> </tbody> </table> </div>		ファイル名	結果	data_20211101.xml	成功	data_20211105.xml	エラーあり。詳細はエラーリストを参照してください。	<p>備考</p> <ul style="list-style-type: none"> ●活性化制御 出力フォルダ、ファイルのテキストフィールド ⇒常に非活性。 ●入力チェックのタイミング 実行ボタン押下時。 ●繰り返し 特になし。 ●タブ順 左上から右下。 ●凡例 <ul style="list-style-type: none"> ① : 画面領域番号 □ : 新規に作成され表示される画面領域 ① : イベントNo
ファイル名	結果							
data_20211101.xml	成功							
data_20211105.xml	エラーあり。詳細はエラーリストを参照してください。							

2. 画面領域

#	画面領域番号	画面領域ID	画面領域名	備考
1	①	A15S010A001	ボタン配置エリア	ボタン(実行)を表示する領域。
2	②	A15S010A002	メッセージエリア	インフォメーションメッセージ、およびエラーメッセージを表示する領域。
3	③	A15S010A003	コンテンツエリア	チェックツールのバージョン、入力項目、およびチェック結果の一覧を表示する領域。 一覧のソート順はファイル名(昇順)とする。

3. 画面の操作

#	手順
1	出力フォルダ、およびファイル(複数選択可)を入力する。 実行ボタンを押下すると確認ダイアログが表示される。 いずれかのファイルにエラーがある場合、選択した出力フォルダにエラー情報が記載されたCSVファイルが出力される。
2	チェックに成功したファイルには暗号化が施され、zipファイルに格納される。 また、ツールのバージョン情報を記載したファイルがこのzipファイルに格納される。 このzipファイルは選択した出力フォルダに出力される。 全てのファイルに対するチェックが完了した後、ファイル名と結果が一覧に表示される。 また、出力フォルダがエクスプローラで表示される。